

【戯曲募集】

《ナビイチリーディング》では、ブラッシュアップを希望する戯曲を随時募集しています。既に上演したものでも構いません。地域の第一線で活躍する俳優によるリーディング上演をした後、ゲストを迎えたディスカッションを行い、あなたの戯曲の新しい魅力を発見します。エントリーは無料です。詳細は日本劇作家協会東海支部 HP などをご参照ください。応募多数の場合は、きちんと読んだうえで、取り上げる戯曲を選考いたします。ぜひともご応募ください。

* 詳細お問い合わせは、日本劇作家協会東海支部 HP からお願いします。

□ナビイチリーディング、次回開催は、2021年3月を予定しています。

*ナビロフトLINEでリアルタイムな開催情報をお届けします。

下記QRコードよりアクセス、ご利用ください。



□ナビイチリーディング | お問い合わせ

*日本劇作家協会東海支部 HP

*Loft Plan：電話 090-9929-8459

□主催：日本劇作家協会東海支部、ナビロフト、Loft Plan

□制作協力：名古屋演劇教室

日本劇作家協会東海支部×ナビロフト

ナビイチリーディング

【第16回目】

2020年12月14日（月）

19:30～21:30

【会場：ナビロフト】

名古屋市天白区井口二丁目 902

TEL/FAX : 052-807-2540

□作家ご挨拶 | 鈴川すず□

この本は、コロナ禍で上演不可能になった数多くの戯曲の中の、ひとつです。2020年3月、沖縄で開催予定だった『劇琉王 VOL3』エントリー作品でした。演出の國仲と打ち合わせをしていて、さてどういった物語にしようかと考えていたところ、「イキったのやりましょうよ」と言われ、この本を書いた次第です。観ている方にとって、思想信条にぎりぎり触れるか触れないかくらいでの歴史選択への自省を、軽やかに表すことができれば「イキってる」範疇に入れてもらえるだろうか、この物語に出てくる事象についての知識を、僅かだとしても必要とすることも「イキってる」んじゃないか、「イキってる」ってなんだ、そんなことを心の中でリフレインしながら、書き進めました。現実はいつでも想像を超えてくるものだ、とつくづく思うのは、このコロナ災厄でも同じです。稽古も進みあとは本番を迎えるのみ、という手前くらいで中止が決定された時は、本当に落胆しました。ナビイチリーディングで、ブラッシュアップして頂く事、私が書いた物語が紙の中に埋れず、人の声に乗ること、心から本当に有り難く、嬉しく思います。

□作：鈴川すず | プロフィル□

1973年10月26日 出身地 愛知県名古屋市

最終学歴 1999年 北海道薬科大学卒業・薬剤師免許習得

2002年から2010年まで沖縄で暮らし、那覇市にあるシアターテンカンパニー（代表田原雅之）にて短期間ですが見習い作家をしていました。その時に一緒だったシアターテンカンパニーの元劇団員 国仲正也が立ち上げた hatos（鳩ス）という劇団の作家をしています。

【今月の戯曲】

作：鈴川すず 『物語の作り方』

【リーディング・キャスト】

初老の作家：にへいたかひろ

(よこしまブロッコリー)

初老の演出家：加藤智宏

(office Perky pat)

新人ウエイター：馬場祥（劇団さよなら）

ト書き：みちこ（劇団あおきりみかん）

コーディネーター：鹿目由紀（劇団あおきりみかん）

ファシリテーター：中内こもる（劇団中内(仮)）

□ディスカッション・ゲスト□

斜田章大（廃墟文藝部）